

令和4年3月期 事業報告

1. 概要

当年度もコロナ禍による緊急事態宣言発令等によりメール等での募集活動となったが、当年度は高専等の学生に対しWEBにて財団の説明をおこない、また昨年引き続き各校の学生課の先生方に奨学生募集ガイドを送付するなど積極的に活動し、前年度より1校1名多い5校13名の奨学生を採用できた。

また、当年度は富山高専の奨学生1名が専攻科への進学試験に合格したことから、本奨学生も前例に従い専攻科卒業まで期間の延長をすることとし、本年4月より東京海洋大学へ進む学生とともに当理事会へ期間延長の議案を提出した。

上野誠氏及び上野善氏より当財団の趣旨に賛同し奨学金支給の原資として上野グループホールディングス株式会社の株式合計253,634株、時価1,476百万円相当の寄付申入れがあり理事会にて受入承認を決議した。これにより本年6月から毎年3.5百万円ほどの配当収入が見込めることとなる。

なお、当年度もコロナ禍が終息しないことから、奨学生の懇談会等は開催できなかった。

2. 事業活動

(1) 奨学金事業

①奨学生の募集、採用

当年度は下記の要領により奨学生の募集を行い、選考委員会による奨学生選定、理事会による承認の後、13名を新たに採用した。これに伴い、上期は35名に対し420万円、下期は33名に対し396万円をそれぞれ支給した。

本年1月末にこれまで応募のあった各校の学生課に募集ガイドラインを作成送付し、また3月2日に鳥羽商船高等専門学校、3月17日に東京海洋大学の学生にオンラインにて奨学金募集説明会を開催した。

<対象>

- ・3級海技士の免状取得を目指す者のうち、商船系大学、水産系大学の3年生、及び商船高等専門学校の4年生。

<募集人数と選考>

- ・15~20名程度。
- ・ホームページによる公募を経て選考委員会にて選定する。
- ・選考委員会は3名で構成（外部委員3名）

第1号議案

<支給金額>

・月額 20,000 円

②奨学生の状況

9月末に2019年度採用した鳥羽商船の3名の内2名が無事卒業し船員職に就職し、他1名は翌年4月に東京海洋大学3年へ進学予定。富山高専の学生1名が専攻科への進学試験に合格し、翌年10月進学予定。

また同様に2019年度採用の水産大学校の学生11名も3月21日に全員卒業した。

③交流会

当年度も新型コロナウイルスの感染予防のため中止することとなった。

(2) 法人運営

当年度は財団の組織運営体制の強化を進めた。

・法人法に基づく評議員会及び理事会の開催

評議員会

第1回評議員会みなし決議（令和3年4月30日）

第2回評議員会みなし決議（令和3年9月16日）

理事会

第1回理事会（令和3年4月26日）

第2回理事会 みなし決議（令和3年5月14日）

第3回理事会 みなし決議（令和3年9月10日）

第4回理事会（令和3年12月27日）

第5回理事会（令和4年3月1日）

以上

第1号議案

令和4年3月期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 計算書類

第2期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

公益財団法人上野教育文化財団

貸借対照表  
令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金及び預金	27,818	1,087,080	△ 1,059,262
前払費用	22,000	88,000	△ 66,000
流動資産 合計	49,818	1,175,080	△ 1,125,262
2.固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
投資有価証券	1,476,657,148	0	1,476,657,148
(2)その他固定資産			
什器備品	72,050	158,510	△ 86,460
固定資産 合計	1,479,729,198	3,158,510	1,476,570,688
資産合計	1,479,779,016	4,333,590	1,475,445,426
II 負債の部			
1.流動負債			
未払費用	332	0	332
流動負債 合計	332	0	332
負債合計	332	0	332
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
受贈株式	1,476,657,148	0	1,476,657,148
指定正味財産 合計	1,479,657,148	3,000,000	1,476,657,148
(うち基本財産への充当額)	(1,479,657,148)	(3,000,000)	(1,476,657,148)
(うち特定資産への充当額)	(1,476,657,148)	( 0)	(1,476,657,148)
2.一般正味財産	121,536	1,333,590	△ 1,212,054
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産 合計	1,479,778,684	4,333,590	1,475,445,094
負債及び正味財産合計	1,479,779,016	4,333,590	1,475,445,426

正味財産増減計算書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	10,000,000	6,000,000	4,000,000
受取利息	40	22	18
経常収益計	10,000,040	6,000,022	4,000,018
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	95,916	95,916	0
地代家賃	237,600	237,600	0
旅費交通費	0	0	0
通信費	243,600	199,336	44,264
委託費	1,584,000	594,000	990,000
減価償却費	77,814	77,814	0
支払奨学金	8,160,000	5,400,000	2,760,000
その他雑費	150,296	63,289	87,007
管理費			
役員報酬	412,956	159,860	253,096
地代家賃	26,400	26,400	0
通信費	27,067	22,148	4,919
委託費	176,000	66,000	110,000
減価償却費	8,646	8,646	0
その他雑費	11,799	2,342	9,457
経常費用計	11,212,094	6,953,351	4,258,743
当期経常増減額	△ 1,212,054	△ 953,329	△ 258,725
当期一般正味財産増減額	△ 1,212,054	△ 953,329	△ 258,725
一般正味財産期首残高	1,333,590	2,286,919	△ 953,329
一般正味財産期末残高	121,536	1,333,590	△ 1,212,054
II 指定正味財産増減の部			
受贈株式	1,476,657,148	0	1,476,657,148
当期指定正味財産増減額	1,476,657,148	0	1,476,657,148
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,479,657,148	3,000,000	1,476,657,148
III 正味財産期末残高	1,479,778,684	3,730,404	1,476,048,280

正味財産増減計算書内訳表  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	9,500,000	500,000	10,000,000
受取利息	36	4	40
経常収益計	9,500,036	500,004	10,000,040
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	95,916	0	95,916
地代家賃	237,600	0	237,600
通信費	243,600	0	243,600
委託費	1,584,000	0	1,584,000
減価償却費	77,814	0	77,814
支払奨学金	8,160,000	0	8,160,000
その他雑費	150,296	0	150,296
管理費			
役員報酬	0	412,956	412,956
地代家賃	0	26,400	26,400
通信費	0	27,067	27,067
委託費	0	176,000	176,000
減価償却費	0	8,646	8,646
その他雑費	0	11,799	11,799
経常費用計	10,549,226	662,868	11,212,094
当期経常増減額	△ 1,049,190	△ 162,864	△ 1,212,054
当期一般正味財産増減額	△ 1,049,190	△ 162,864	△ 1,212,054
一般正味財産期首残高	△ 1,241,895	2,575,485	1,333,590
一般正味財産期末残高	△ 2,291,085	2,412,621	121,536
II 指定正味財産増減の部			
受贈株式	1,476,657,148	0	1,476,657,148
当期指定正味財産増減額	1,476,657,148	0	1,476,657,148
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	1,479,657,148	0	1,479,657,148
III 正味財産期末残高	1,477,366,063	2,412,621	1,479,778,684

## 財務諸表に対する注記

### I 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理  
税込処理によっている。

### II 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
投資有価証券	0	1,476,657,148	0	1,476,657,148
小 計	3,000,000	1,476,657,148	0	1,479,657,148
合 計	3,000,000	1,476,657,148	0	1,479,657,148

### III 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	3,000,000	(3,000,000)	( 0)	( 0)
投資有価証券	1,476,657,148	(1,476,657,148)	( 0)	( 0)
小 計	1,479,657,148	1,479,657,148	( 0)	( 0)
合 計	1,479,657,148	1,479,657,148	( 0)	( 0)



# 附属明細書

令和4年3月31日現在

## I 基本財産の明細


財務諸表に対する注記のⅡにおいて記載しております。

## 監査報告書

公益財団法人上野教育文化財団  
代表理事 上野 元 殿

令和4年4月18日

公益財団法人 上野教育文化財団

監事 奥津 勉 

私は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行につき監査いたしました。その方法及び結果について、つぎのとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべの重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上